

第11回北陸銀行若手研究者助成金公募要項

株式会社 北陸銀行
国立大学法人 金沢大学

北陸銀行と金沢大学は、「国立大学法人金沢大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力協定に関する覚書」（平成20年6月9日）に基づき、金沢大学の若手研究者の育成を通じて、我が国の基礎的・基盤的な学術研究あるいは産学連携研究の発展に貢献することを目的として、以下のとおり研究助成の公募を行います。

新しい課題に挑戦する意欲的な研究者の積極的な応募を期待します。

1. 助成対象

(1) 応募資格

平成31年4月1日現在で39歳以下の金沢大学に所属する教員（非常勤，教諭は除く。）

(2) 助成対象研究

人文・社会科学から自然科学までの全分野にわたる基礎的研究あるいは産学連携研究で研究者が1人で行う研究計画を対象とします。

(3) 応募件数

1人1件までとします。

2. 助成の概要

(1) 助成金額

1研究計画につき，100万円以内

(2) 採択件数

予算の範囲内で，5～10件

(3) 研究期間

1年間（平成31年4月1日～平成32年3月31日）

3. 審査区分・選考方法・選考基準

(1) 審査区分

「人文社会系」，「理工系」，「生物系」の3区分

(2) 選考方法

- (ア) 審査委員会での審査を経て北陸銀行における選考委員会において決定します。
(イ) 審査委員会は，金沢大学理事（研究担当）が指名する者で構成し，北陸銀行からのオブザーバーを加えます。

(3) スケジュール

平成30年	11月15日（木）	公募開始
平成30年	12月17日（月）	公募締切
平成31年	1月9日（水）～31日（木）	審査・選考
平成31年	2月初旬～中旬	採否決定
平成31年	3月中	贈呈式

(4) 選考基準

次の要件を総合的に審査し、かつ「人権の保護及び法令等の遵守を必要とする研究課題の適切性」を評価して選考します。

- (ア) 研究課題の学術的重要性・妥当性
- (イ) 研究計画・方法の妥当性
- (ウ) 研究課題の独創性及び革新性
- (エ) 研究課題の波及効果及び普遍性
- (オ) 研究遂行能力
- (カ) 基礎的研究の進展あるいは産学連携研究発展への期待

(5) 留意事項

審査委員は、申請書に関係する分野の専門家であるとは限りません。専門家ではない人が読む前提で申請書を作成してください。

4. 応募方法

所定の申請書に必要事項を記入の上、部局担当事務部を通じて研究推進部研究推進課学術調整係あてに紙媒体及び電子データにて提出してください。

※ 各部局担当事務部においては、申請書を取りまとめの上、申請一覧（電子ファイル）と共に提出期限までに研究推進部研究推進課学術調整係へ送付してください。

- (1) 申請書の様式：別紙様式1のとおり（紙媒体は両面印刷，クリップ留め）
（※申請書は，モノクロ印刷を行い審査委員に送付します。）
- (2) 提出期限：平成30年12月17日（月）

5. 研究実績・成果報告等

研究助成金の交付を受けた研究者（以下「採択者」という。）は、助成対象研究における助成金の使途、研究内容及び研究成果等について、以下の報告書等を提出してください。

- (1) 研究実績報告
採択者は、研究期間終了後30日以内に、研究実績報告書（別紙様式2）を提出してください。研究実績報告書は、Webサイト上で公開します。
- (2) 研究成果報告等
採択者は、研究期間終了後60日以内に、パネル発表のための資料（パワーポイント形式及びPDF形式）を提出してください。本資料は、北陸銀行の店舗でパネル展示します。
また、学内にて研究成果報告会を開催することも予定しています。
これらの詳細については、追って採択者に連絡します。

6. 問合せ先

金沢大学研究推進部研究推進課学術調整係（神野，塩谷）
TEL 076-264-5034, 5976
FAX 076-234-4016
メールアドレス rdefence@adm.kanazawa-u.ac.jp